

平成17年度 産業建設常任委員会行政視察報告書

平成17年1月23日

1. 日 程 平成17年11月7日～9日
2. 視察先等 三重県伊勢市 人口 10万人
広島県尾道市 人口 9万3千人
3. 視察事項等 伊勢市 ・内宮おはらい町について
尾道市 ・高校生絵のまち尾道四季展について
4. 視察者 一行 7名
委員 小野吉太郎委員長 広野 豊作副委員長 高井 保委員
安中 弘委員 大桃 一明委員
当局 滝沢 正行都市計画課長補佐
随行 石井 信一議会事務局次長

伊勢市

【市の概要】

三重県南部に位置し、多気・度会の二郡及び鳥羽市・志摩市に隣接し、東に五十鈴川、西に宮川をめぐらし、南は島路山・神路山に連なり、北は伊勢湾に臨んでいる。

古くから伊勢神宮の鳥居前町として発展。伊勢志摩国立公園の玄関口にあたり、歴史文化・遺産や美しい自然に恵まれ年間約600万人の観光客が訪れる。

【事業の概要】

神宮の門前町として発達した伊勢市は、まちなみ保全整備を推進し、地域豊かなまちづくりを行うため、昭和54年8月失われつつあるまちなみの保全と再生のため、地元の人達による「内宮門前町再開発委員会」が結成された。

その後、平成元年9月市独自条例である「伊勢市まちなみ保全条例」が制定され、平成2年6月保全事業に着手。平成4年10月無電柱化工事が完了し、翌年6月石畳敷石工事が完了した。

伝統的建物群保存地区のように凍結保存型ではなく、古いまちなみを新たに創出することで、住民が現在の生活を損なうことなく「生活のにおいのするまちづくり」を進めることを基本とした事業であり、国や県からの補助事業ではなく、住民主体の事業であり、保全整備基準を満たした建築物に対し、必要な場合、行政が資金の貸付を行う。（おはらい町まちなみ保全地区内の土地や建物の大半を、伊勢名産「赤福」の経営者とその関連会社が所有）

◎貸付事務の流れ

貸付申請 → 審議会（委員 8 名） → 貸付の受理

組織	<ul style="list-style-type: none"> ・知識経験者 3名……建築士 ・住民代表 3名 ・市職員 2名（建築住宅課） 	}	で構成（任期は2年間）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書、工事積算書等の審査 （保全整備基準の条件を満たしているか審査） 		

◎貸付内容

①貸付額 1,000千円～30,000千円（10万円単位・年収に応じた区分あり）

②貸付利率 年2%

③償還期間 20年以内（元利均等償還）

④貸付実態

・平成2年6月、制度を開始してから今現在、行為の届出件数77件のうち貸付申請は15件のみであり、貸付総額は294,600千円である。



まちなみ保全地区の建築物

尾道市

【市の概要】

天然の良港に恵まれた尾道は、平安時代の1169（嘉応元年）年、備後太田庄（後の高野山領）公認の船津蔵敷地（荘園米の積み出し港）となって以来、対明貿易船や北前船内海航行船の寄港地として中世、近世を通じて繁栄をとげました。各時代には豪商を生み多くの寺社仏閣の寄進造営が行われ、いつしか81カ寺を数えたと言われています。

1889（明治22）年町村制施行に伴い尾道町となり、1898（明治31）年には広島市に次ぎ県下で二番目に市政を施行しました。

昭和時代には、臨海部の埋め立てと内陸部の開発により、商工業を中心とする地場産業の基盤整備と強化策を推進してきました。

平成に入ってから、山陽自動車道尾道ICの開設、びんご運動公園の開園、尾道ふくしむらの建設や経済情報学部、芸術文化学部からなる尾道大学の設置等生活基盤の整備が進められています。

また、1998（平成10）年には市制施行100周年、1999（平成11）年には瀬戸内しまなみ海道（西瀬戸自動車道）が開通し、それぞれ盛大な記念イベントが行われました。

【事業の概要】

尾道は古くから港町として栄え、明治31年に市制が施行された歴史のある神社仏閣の多い、文化と芸術の街である。

オイルショック以降、造船業の低迷等によるまち全体の活力低下という状況の中で、地域（特に商店街）の活性化という観点から昭和58年「絵のまち尾道四季展」を、また平成13年から地域性を活かした「高校生絵のまち尾道四季展」、平成15年から「写真のまち尾道四季展」を開催している。

また、尾道大学は現在、市立の短大から現在4年生大学に移行し、平成13年芸術文化部を開設するとともに本年同大学院を開設し、芸術文化に力を入れている。

事業内容は、高校生を対象に尾道を描いた絵画を全国公募し、隔年開催し、入賞・入選作品を決定して作品の展覧会を開催する。（7～9月高校生の合宿を受け入れる。）

また、最高賞の尾道賞受賞者15人と受賞者の所属する高校の担当美術教諭を4泊6日のフランス研修へ招待している。

なお、年間予算は、開催年においては概ね7,000千円（ほとんどフランス研修費）、準備年においては2,300千円程度である。

第1回高校生絵のまち尾道四季展出品状況

○作品出品者数

416人(洋画 390人・日本画 2人・デザイン23人・その他 1人)

○地域別出品者数

東京都	1人	静岡県	1人
愛知県	3人	滋賀県	5人
京都府	2人	大阪府	43人
兵庫県	35人	和歌山県	10人
鳥取県	1人	島根県	8人
岡山県	30人	広島県	184人
山口県	12人	香川県	3人
福岡県	22人	長崎県	11人
熊本県	25人	大分県	4人
宮崎県	16人		

○類似事業

絵のまち尾道四季展

趣旨：美しい自然景観に恵まれた尾道とその周辺を題材として描いた作品を全国公募する「絵のまち尾道四季展」を開催し、併せて芸術文化都市の創造を目的とする。

〔所見〕

伊勢市・尾道市

伊勢市は神社、尾道市は寺院に依って栄えている町であります。両市は私達人間の生活の中で神仏の信仰心を利しての町でありますので、両市を要約しての所感とします。

それぞれの町は、人間の心の古里として数百年の昔から心を清めに神を詣で、又仏をお参りに訪れて栄えて来ました。

今尚、観光を兼ねて年間数百万人が訪れて栄えている他に類を見ない奥の深さと、それを生かした古い町並みを守り、更に発展させるために投資出来ることを誇りにしており、それが私には伝わって来ます。

私達もこの視察から学んだ千年の先を觀た町づくりを、日頃の生活の中で生かして行きたいと強く思っております。

青春が育つまち
若者の感性で
新しい「おのみち」を描く

第3回 高校生
絵のまち尾道四季展
作品公募

テーマ：尾道の風景、風俗、祭り及び行事などで、尾道の特徴を取り入れたもの。

◎作品納入 (宅配納入) 2005年11月25日(金)
(直接納入) 2005年11月26日(土)～11月27日(日)
2005年12月23日(金・祝)～2006年2月5日(日)

◎作品展示
【市立】尾道大学芸術文化学部美術学科教授

◎賞 賞
●尾道賞 一15点/副賞：フランス研修旅行
●秀 作 一10点/副賞：図書券1万円分
●入 選 一130点/副賞：記念品